

## 東日本大震災被災地支援

—1年間を振り返って—

### 震災から1年 ～忘れてはいけない3月11日～

東日本大震災の発生から1年が経ちました。今回の地震は、日本での観測史上最大の規模となったマグニチュード9.0を記録し、津波に加えて原子力発電所の事故という二次災害も重なりました。

あのときに見た押し寄せてくる津波と津波が引いた後の映像は、私たちに自然災害の恐ろしさを再

認識させる衝撃的なものでした。

### ～広がる支援の取組～

地震発生後、直ちに全国各地から支援の手が被災地に差し伸べられました。

山科区でも、昨年5月から掲載してきたとおり各方面から多くの方々から被災地の救援、復興のため現地で活動されたり、山科に避難されてきた方々が安心して暮らせるよう地域の



方々が様々な活動をされるなど支援の輪

が大きく広がってきました。

### ～復興に向けて～

阪神・淡路大震災から17年、被災地は震災前の賑わいを取り戻しています。

東日本大震災の被災地の復興には、それ以上の時間が掛かることも想定され、まだまだ息の長い支援が必要です。

この「絆」を大切に、これからも、被災地復興のため私たちができる支援活動に取り組んでいきましょう。

●問合せ先/区総務課企画広報担当(☎592-3066)

## ●春の全国交通安全運動●

スローガン

やさしさを 乗せて走ろう 京の春

### 運動の重点

- ★こどもと高齢者の交通事故防止
- ★飲酒運転の根絶
- ★自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)
- ★全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 問合せ先/区まちづくり推進課(☎592-3088)

## 第37回 山科義士まつり

写真コンクール入賞作品

昨年12月14日に行われた山科義士まつりをテーマにした写真コンクールにおいて、上位に入賞された方の作品を紹介します。

### 実行委員会 会長賞



「旅立ち」  
城野 幸雄さん

### 山科区長賞



「討入り」  
泉 由樹さん

### 大石神社賞



「連判状拝見」  
植田 信子さん

### 京都 新聞社賞



「いざ出陣」  
塩見 芳隆さん

## 入選



「祭りのひととき」  
柳原 薫彦さん



「義士参拝」  
谷 泰雄さん



「大石内蔵助一行」  
奥田 光男さん



「凜凜しい人達が行く」  
中山 藤悟さん



「主役二人」  
小見山 恵美さん

●問合せ先/区まちづくり推進課(☎592-3088)

## 京都醍醐ライオンズクラブ35周年記念事業

先着  
1000  
名様

入場無料



京都醍醐ライオンズクラブでは、35周年を記念し、辛坊治郎氏の記念講演会等を行います。たくさんのお越しをお待ちしています。

- 内容/①辛坊治郎氏の講演会「どうなる日本～政治経済の明日を見通す～」/②福島フラダンスチーム「フラダンスのタベ」
- 日時/5月12日(土)午後5時

から

- 場所/ウェスティン都ホテル 京都 瑞穂の間
- 申込方法/往復はがきに住所、氏名、年齢、性別を記入し、4月10日(必着)までに申込みください。一通のはがきで2名様までの招待券となります。
- 宛先・問合せ先/〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1 ウェスティン都ホテル京都6F 京都醍醐ライオンズクラブ 記念事業実行委員会(☎771-9333)

## ふれあい“やましな”2012区民ふれあい文化祭 区民ギャラリー受賞者決定

2月26日(日)に開催された区民ふれあい文化祭「区民ギャラリー」に出展された作品203点の中から、各部門の「ふれあいやましな賞」受賞作品(最優秀作品)を紹介します。

### 絵画

保育園・幼稚園の部

### リサイクルアート

「風呂敷でお散歩セット」  
森 登茂子さん



「孔雀」  
井上 凜音さん



一般の部  
「海底70mの  
カサゴ」  
高田 博光さん



小学生・  
中学生の部  
「跳べ!より高く」  
八木 加奈絵さん

### 写真

「子育てファミリー」  
有坂 比奈子さん

### 書道

一般の部  
「漢詩」  
金丸 修さん



小学生・  
中学生の部  
「春光輝く」  
西川 由季さん

●問合せ先/ふれあい“やましな”実行委員会事務局 区まちづくり推進課(☎592-3088)



## 早春 はねず踊りと今様

「はねず踊り」は、小野小町を恋慕う深草少将が百夜通いをした悲恋を、わらべの歌に合わせ、はねず(薄紅)色の小袖をまとった少女たちが可憐に踊る催しです。

- 日時/3月25日(日) ①午前11時 ②午後0時30分 ③午後

1時30分 ④午後3時(計4回)

- 場所/随心院境内(雨天の場合は能乃間)小野御霊町35(地下鉄東西線「小野駅」下車、東へ徒歩5分)
- 費用/大人1,000円、中学生800円(拝観・梅園入園料含む)
- 問合せ先/はねず踊り保存会(☎571-0025)

## 地域防災 最前線

### 子どもの火遊び防止について ご存じですか?

平成21年から平成22年にかけて、ライターによる火遊び火災が全国で相次いで発生したことから、幼児が興味本位でライターに触れても簡単に火がつけられないように、平成23年9月27日から安全機能を施したライター以外は販売できなくなりました。

### 子どもを、火遊びによる火災から守るポイント!!

- ①子どもの手の届くところにライターやマッチを置かない。
- ②必要以上のライターやマッチを置かない。
- ③子どもだけを残して外出しない。
- ④日ごろから火の恐ろしさについて教える。

日ごろから正しい火の取扱いを親がしっかりと指導することが、子どもの火遊び防止につながります。

- 問合せ先/山科消防署(☎592-9755)